

決算審査特別委員会報告

決算審査特別委員会に付託されました議案につきまして、本委員会での審査の経過及び結果を御報告いたします。

初めに、審査の経過を御報告いたします。

本委員会は、9月2日に設置された後、9月13日に令和5年度決算概要説明を行い、9月18日に決算関連6議案が本会議において付託されました。その後、代表監査委員による審査意見の報告・質疑、総括質疑、各分科会での関係各部局からの説明・質疑等の詳細審査を経て、10月3日に各分科会報告、討論・採決を行い、本委員会での審査を終了したところであります。

10月3日の各分科会報告では、お手元に配付のとおり、4分科会の審査の過程で出された12項目にわたる要望等が報告されております。執行部におかれては、各分科会の報告に対して、適切に対応されることを求めます。

それでは、特別委員会報告として、次の4点について申し上げます。

まず、若者定住促進事業費についてであります。

本事業は、結婚を希望する男女の出会いを支援することにより、結婚による若者の定住を促進し、本市をはじめ麒麟のまち圏域の人口増加につなげていくことを目的としています。

婚活サポートセンターの会員数やイベント参加者は年々増加しており、令和5年度には会員である若者のニーズに合わせてカップリングを行わないサークル活動を取り入れたとの報告を受けました。

鳥取県が行っている1対1のマッチングに特化した事業とのすみ分けをして、気軽に参加できるイベントによる出会いの機会の創出に特化した事業を進めていくことは効果的だと考えますが、本事業では成婚数が成果目標となっています。成婚報告数は少ないと報告があったことから、執行部におかれては、改めて会員のニーズやこれまでの事業成果を検証し、事業目的に沿った成果指標にするなど、より効果的な事業となるよう研究していくよう求めます。

次に、健康増進事業費についてであります。

この事業費は、がん検診等を実施し、疾病の早期発見や早期治療、健康意識の向上などを図る経費と、健康教育・健康相談・訪問を実施して、適切な指導や支援を行うことで健康づくりを推進するための経費です。

令和5年度は、令和4年度に比べてがん検診等の受診率が低下、あるいは横ばいとなっており、コロナ禍前と比較しても少しずつ下がっている状況です。

そこで、執行部におかれては、がん検診等の受診率の向上等による事業の効果を高めるため、わくわく元気教室や、鳥取市民健康づくり地区推進員、地区公民館との連携により、健康に対する意識づくりを醸成するような取組を図るよう求めます。

次に、雇用促進協議会支援事業費についてであります。

本事業では、鳥取市雇用促進協議会により、高校生に地元企業の魅力を知ってもらうことを目的とした中小企業早期ブランディング事業が行われ、令和5年度は3校 599 名が参加しました。この事業は一過性の企業見学ではなく、事前学習から取り組み、経営者と直接やり取りをし、地元企業が地域課題に真剣に向き合っている姿や将来性を知ってもらうことができると説明がありました。また、高校生を対象とした実施後のアンケート調査では、地元企業の印象が良くなったという回答がほとんどであるとのことでした。

将来、生まれ育った鳥取で活躍したい、貢献したいと考える高校生も多いと考えます。地元定着やUターンを期待し、今後も実施校や参加企業の拡大に取り組まれ、高校生に対して地元にも魅力的な企業と活躍の場があることを伝えていかれるよう求めます。

最後に、空家対策事業についてであります。

特定空家の所有者等に対する除去費用の一部助成の実施件数が、令和5年度は例年と比べて増加したとのことでした。今年度施行される鳥取市空家等の適切な管理に関する条例の一部改正に伴い、今後も件数が増加することが見込まれます。引き続き、所有者等への周知を積極的に進めるとともに、空き家及び遊休不動産の利活用についても、関係部署と連携を取り、推進するよう求めます。

また、近年の自然災害の激甚化・頻発化により、住宅・建築物耐震診断・改修支援事業についても市民の関心が高まっています。安全安心な生活環境確保のため、取組の強化を要望します。

次に、審査の結果を御報告いたします。

議案第 99号 令和 5 年度鳥取市工業用水道事業決算認定について、

議案第101号 令和 5 年度鳥取市病院事業決算認定について、

議案第102号 令和 5 年度鳥取市鹿野町鹿野財産区管理事業費特別会計決算認定について、

以上 3 案は、全会一致で認定すべきものと決定しました。

議案第100号 令和 5 年度鳥取市下水道等事業剰余金処分及び決算認定について、
本案は、全会一致で原案のとおり可決及び認定すべきものと決定しました。

議案第 97号 令和 5 年度鳥取市歳入歳出各会計決算認定について、

本案は、一部委員の反対がありましたが、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

議案第 98号 令和 5 年度鳥取市水道事業剰余金処分及び決算認定について、

本案は、一部委員の反対がありましたが、賛成多数で原案のとおり可決及び認定すべきものと決定しました。

終わりに、本報告、分科会報告が、令和 7 年度予算に最大限反映されることを強く求めて、決算審査特別委員会報告を終わります。